

都市再生整備計画 事後評価シート
中心市街地東地区

平成27年3月

群馬県前橋市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	前橋市	地区名	中心市街地東地区			面積	65.8ha					
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	2,549百万円	国費率	40%					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	基幹事業		道路(市道02-301号線)、公園(前橋こども公園、二中(第四)1号公園、須賀の園)、高質空間形成施設(広瀬川河畔道路)、土地区画整理事業(二中地区(第三))											
	提案事業		地域創造支援事業(リニューアールオープンイベント、交流拠点機能の充実〔バス購入〕)											
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
		変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	来園者数の増加	人	180,000	H20	228,000	H25	モニタリング	評価値	458,996	○	あり なし	施設の全面リニューアルにより、体験学習機能の強化・充実が図られ、市民交流拠点としての魅力が向上した。	-
	指標2	満足度(公園環境)	%	42	H20	60	H25		69	○	あり なし	施設整備に合わせて、多様な体験活動の充実やイベントなどの実施により、地域住民や多世代に開かれた交流の場としての機能が向上した結果、公園環境の満足度が大きく向上した。 ※本指標は、公園環境に関するアンケート調査から「満足(5段階評価の最高値)」と回答した割合を示したものであるが、「ほぼ満足(5段階評価の上から2番目)」を合わせると、93%(従前値は72%)となる。	-	
	指標3	消防活動困難度	%	23.4	H20	8.0	H25		0.0	○	あり なし	土地区画整理事業の進捗に伴い道路網が整備され交通障害等が改善し、快適で安全な住環境整備が図られた。	-	
	指標4										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・広瀬川河畔道路及び公園整備により、周辺環境の改善と市民交流拠点を中心に回遊性の向上が図られた。 ・公園愛護会の設置により、市民のまちづくりへの参加の意欲が向上した。 ・区画整理事業により、交通障害や防災性の低さが解消され、良質な住環境の整備が図られた。 													
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況								今後の対応方針等			
	モニタリング	目標達成に向けて確実な効果を上げるための市民アンケート等によるモニタリング調査	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								● ● ● ● ●			
	住民参加プロセス	快適な歩行空間を確保するため、地元と十分な協議を重ね、保健所の南に位置する空き地に「二中(第四)1号公園」を整備する。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								● ● ●			
	持続的なまちづくり体制の構築	公園愛護会の設置	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								● ● ●			

様式2-2 地区の概要

中心市街地東地区(群馬県前橋市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:『自然と都市機能が融合した潤いのある居住環境を備える市民交流拠点のまちづくり』 小目標1:水と緑を活かした“市民交流拠点の整備” 小目標2:居住性・防災性を向上させる“快適・安全な住環境の整備”	来園者数の増加	単位:人	180,000 H20	228,000 H25	458,996 H25
	満足度(公園環境)	単位:%	42 H20	60 H25	69 H25
	消防活動困難度	単位:%	23.4 H20	8.0 H25	0.0 H25

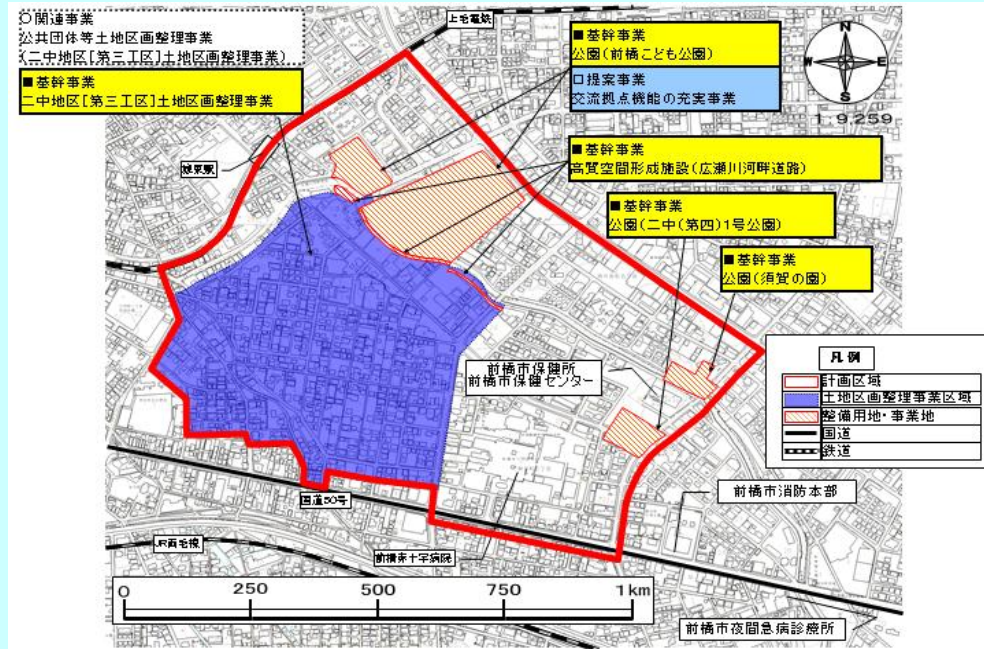
前橋こども公園①



前橋こども公園②



二中(第四)1号公園



須賀の園



広瀬川河畔道路



二中地区(第三)土地区画整理事業



まちの課題の変化

- 前橋こども公園のリニューアルにより、既存樹木や地形を活かした環境学習のためのゾーンが整備されるなど、自然体験機能が向上し、児童文化センターと公園の連続性が確保された。
- 土地区画整理事業により居住性や防災性が向上し、快適で安全な住環境の整備が図られた。また、広瀬川河畔道路や公園等の整備により、地域内の憩いの場並びに災害時の緊急避難場所となる空間が確保された。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 児童文化センターの既存事業の持続・発展に加え、新たな要素である環境教育の推進を図りながら、「学び」と「遊び」が融合するこども公園として、設備、機能を維持していく。
- 地域内外への施設の積極的なアピールや、地元住民や地元企業等との連携体制の強化を図り、継続したまちづくり体制を構築していく必要がある。
- 土地区画整理事業によりハード面において安全・安心な住環境は整ったものの、地域住民の防災に対する意識や災害対応力をさらに強化していく必要があるため、防災訓練や啓発活動等の実施に関する側面的な支援を行うことで、防災に関する地域住民の意識と災害への対応力を高める。